

平成 29 年 2 月 9 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名
東京都千代田区大手町二丁目 1 番 1 号
大手町野村ビル 8 階
ラサールロジポート投資法人
代表者名 執行役員 藤原 寿光
(コード番号：3466)

資産運用会社名
ラサール REIT アドバイザーズ株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤原 寿光
問合せ先 取締役財務管理本部長 石田 大輔
(TEL. 03-6367-5600)

投資法人債の発行及び借入金の一部期限前弁済に関するお知らせ

ラサールロジポート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、本日、平成 28 年 12 月 21 日開催の本投資法人役員会における投資法人債の発行に係る包括決議に基づく投資法人債の発行及び借入金の一部期限前弁済を決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 投資法人債の発行

1. 投資法人債の概要

- | | |
|---------------|--|
| (1) 名称 | ラサールロジポート投資法人第 1 回無担保投資法人債
(特定投資法人債間限定同順位特約付)
(以下「第 1 回投資法人債」といいます。)
ラサールロジポート投資法人第 2 回無担保投資法人債
(特定投資法人債間限定同順位特約付)
(以下「第 2 回投資法人債」といいます。) |
| (2) 発行総額 | 金 60 億円
内訳：第 1 回投資法人債 金 40 億円
：第 2 回投資法人債 金 20 億円 |
| (3) 債券の形式 | 本投資法人債は、社債、株式等の振替に関する法律の適用を受け、投資法人債券は発行しません。 |
| (4) 払込金額 | 各投資法人債の金額 100 円につき金 100 円 |
| (5) 償還金額 | 各投資法人債の金額 100 円につき金 100 円 |
| (6) 利率 | 第 1 回投資法人債 年 0.260%
第 2 回投資法人債 年 0.580% |
| (7) 各投資法人債の金額 | 金 1 億円 |

- | | |
|-----------------------------|---|
| (8) 募集方法 | 一般募集 |
| (9) 申込期間 | 平成 29 年 2 月 9 日 |
| (10) 払込期日 | 平成 29 年 2 月 15 日 |
| (11) 担保・保証 | 本投資法人債には担保及び保証は付されておらず、また本投資法人債のために特に留保されている資産はありません。 |
| (12) 償還方法及び期限 | 下記日付にて各投資法人債の総額を償還します。
第 1 回投資法人債 平成 34 年 2 月 15 日
第 2 回投資法人債 平成 39 年 2 月 15 日 |
| (13) 利払期日 | 毎年 2 月 15 日及び 8 月 15 日（利払期日が銀行休業日にあたるときは、その支払は前銀行営業日にこれを繰り上げる。） |
| (14) 財務上の特約 | 担保提供制限条項が付されています。 |
| (15) 取得格付 | AA-（株式会社日本格付研究所） |
| (16) 財務代理人、発行代理人
及び支払代行人 | 株式会社三菱東京UFJ銀行 |
| (17) 引受証券会社 | 第 1 回投資法人債：みずほ証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、SMBC日興証券株式会社
第 2 回投資法人債：みずほ証券株式会社、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社、SMBC日興証券株式会社、野村證券株式会社 |

2. 発行の理由

本投資法人債の発行により調達した資金を既存の借入金の返済資金に充当することにより、有利子負債の返済期限の分散化及び長期化、資金調達手法の多様化を図るためです。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額（差引手取概算額）

5,960 百万円

(2) 調達する資金の具体的な資金使途及び支出予定時期

上記の差引手取概算額 5,960 百万円は、2,000 百万円を平成 29 年 2 月 17 日に期限の到来する短期借入金 3,690 百万円の返済資金の一部に、3,960 百万円を平成 29 年 2 月 28 日に予定している借入金 7,540 百万円の期限前弁済資金の一部に充当する予定です。

II. 借入金の一部期限前弁済

1. 期限前弁済する借入金の概要

区分	借入先	弁済前 借入残高 (百万円)	期限前 弁済金額 (百万円)	弁済後 借入残高 (百万円)	利率	借入日	返済期日	期限前 弁済日
長期	株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社みずほ銀行及び株式会社三井住友銀行をアレンジャーとする協調融資団（注1）	7,540	4,000	3,540	基準金利（全銀協1ヶ月日本円TIBOR）に0.25%を加えた利率	平成28年2月17日	平成31年2月18日	平成29年2月28日

（注1）協調融資団は、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社りそな銀行及び株式会社福岡銀行より組成されます。

（注2）本期限前弁済による清算金は発生しません。

（注3）借入金の詳細につきましては、平成28年2月17日付「資金の借入れ及び金利スワップの設定に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 弁済資金

前記「I. 投資法人債の発行」に記載の投資法人債の発行による差引手取概算額のうち3,960百万円を充当いたします。なお、弁済金額4,000百万円との差額40百万円については手元資金での充当を予定しています。

III. 本投資法人債発行後及び借入金の一部期限前弁済後の有利子負債の状況

（単位：百万円）

	平成29年2月9日 時点	平成29年2月28日 時点（注1）	増減
短期借入金（注2）	3,690	1,690	▲2,000
長期借入金（注2）	55,280	51,280	▲4,000
借入金合計	58,970	52,970	▲6,000
投資法人債	—	6,000	6,000
有利子負債合計	58,970	58,970	—

（注1）「平成29年2月28日時点」については、本件及び平成29年2月17日に期限が到来する短期借入金の返済並びに本日付「資金の借入れに関するお知らせ」に記載の平成29年2月17日実行予定の借入れが行われることを前提に試算しています。

（注2）短期借入金とは返済期限までの期間が一年以内のものをいい、長期借入金とは返済期限までの期間が一年超のものをいいます。

[財務指標への影響]

	平成 29 年 2 月 9 日 時点	平成 29 年 2 月 28 日 時点	増減
平均残存年数 (注 1)	5.47 年	5.94 年	0.46 年延長
固定金利比率 (注 2)	81.0%	91.1%	10.2%上昇

(注 1) 有利子負債の残存期間を金額に応じて加重平均することにより算出しています。小数点第 3 位を四捨五入して記載しております。

(注 2) 金利が固定化されている有利子負債残高÷有利子負債合計残高×100 で算出しています。小数点第 2 位を四捨五入して記載しております。

IV. その他投資者が当該情報を適切に理解・判断するために必要な事項

本投資法人債の償還等及び本期限前弁済等に関わるリスクに関して、平成 28 年 11 月 25 日に提出した有価証券報告書に記載の「投資リスク」の内容から重要な変更はありません。

以 上

*本投資法人のホームページアドレス：<http://lasalle-logiport.com/>